

学力向上に効果のある取組事例

日杵市立西中学校

⑪校内研修などによる授業改善

取組の具体①

【組織的な授業改善の推進】(提言1)

年7回の授業研究において、以下のことを重点に共通理解を図る

☆国語科を軸とした対話的な学習の推進

- ・対話の中から学びを生み出す授業づくり
- ・各授業で、ペアや班など話し合いの時間の確保

☆習熟に応じたきめ細かな指導、配慮を要する生徒への手立ての徹底

- ・生徒の「学び」を把握し、教室を学びの場にする準備
- ・意図的な単元計画の中で、丁寧な学習状況の見取りとそのフォローアップのある授業

☆「振り返り」を大切にした授業

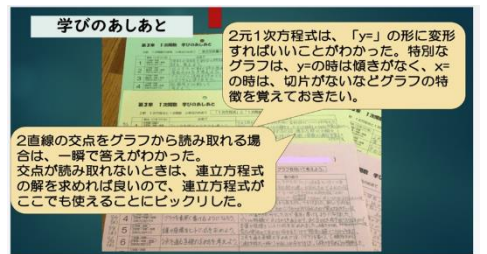
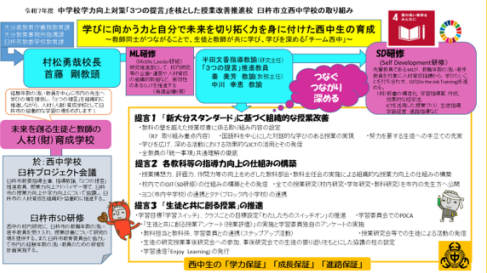
- ・各教科、『学びのあしあと』に毎時間「振り返り」を書かせ授業の理解度を生徒も振り返り、教師も把握する

☆単元計画の作成・共有・実施

- ・単元を通して身につけさせたい力を明確にでき、単元における本時の位置づけを的確に行い、ねらいを確認する

- ※週1回、教科部会をもち、生徒の定着の確認や授業内容の打ち合わせの時間を確保

「中学校学力向上3つの提言」の取組の実践



取組の具体②

【「生徒と先生が共に創る授業」の推進】(提言3)

☆西中学学習スイッチの徹底

『インプットした知識をアウトプットして教えあう仲間になろう』(学習スイッチ2)

- 先生は、授業の中でアウトプットできる時間を確保する
- 生徒は、自分の学んだ知識を仲間へ伝えたり、使ったりする

『ステップアップ活動で学びに向かう雰囲気を作ろう』(学習スイッチ4)

- 授業のはじめに学習委員が、前時の学習の復習をし、休み時間と切り替え授業の学びに向かう雰囲気を作る

☆学習委員会の活性化

- ・学習委員が「生徒と共に創る授業アンケート」の分析、行動目標の設定する
- ・学習委員が、各クラスの短期学習目標「私たちの学びに向けてスイッチON」で弱点見える化を図る

生徒と先生が創る授業

西中学学習スイッチ

1. 仲間と学びを深めるEnjoy Learningをめざす
2. インプットした知識を自らアウトプットして教えあう仲間になろう
3. アクティブスイング目と耳と心と脳と
4. ステップアップ活動で学びに向かう雰囲気を作ろう
5. 何ができるようになったか振り返る学びのあしあとを次につなげよう

